

**令和4年第3回七戸町議会
決算審査特別委員会
会議録（第2号）**

- 招集月日 令和4年 9月06日
○開議日時 令和4年 9月09日 午前10時01分
○散会日時 令和4年 9月09日 午前10時40分
-

○出席委員（14名）

| | | | |
|-----|--------|------|--------|
| 委員長 | 田島政義君 | 副委員長 | 二ツ森英樹君 |
| 委員 | 中野正章君 | 委員 | 山本泰二君 |
| 委員 | 向中野幸八君 | 委員 | 小坂義貞君 |
| 委員 | 澤田公勇君 | 委員 | 宥清悦君 |
| 委員 | 岡村茂雄君 | 委員 | 附田俊仁君 |
| 委員 | 佐々木寿夫君 | 委員 | 田嶋輝雄君 |
| 委員 | 三上正二君 | 委員 | 白石洋君 |

○欠席委員（1名）

委員 盛田恵津子君

○委員外議員（1名）

議長 瀬川左一君

○説明のため会議に出席した者の職氏名

| | | | |
|----------|--------|------------------|---------|
| 町長 | 小又勉君 | 副町長 | 高坂信一君 |
| 総務課長 | 仁和圭昭君 | 支所長 (兼庶務課長) | 氣田雅之君 |
| 企画調整課長 | 金見勝弘君 | 財政課長 | 附田敬吾君 |
| 税務課長 | 西野勝夫君 | 町民課長 | 高田博範君 |
| 介護高齢課長 | 三上義也君 | 保健福祉課長 | 井上健君 |
| こどもみらい課長 | 佐々木和博君 | 会計管理者 (兼会計課長) | 高田美由紀君 |
| 農林課長 | 原子保幸君 | 建設課長 | 鳥谷部勉君 |
| 商工観光課長 | 附田良亮君 | 上下水道課長 | 町屋淳一君 |
| 教育長 | 附田道大君 | 学務課長 | 鳥谷部慎一郎君 |
| 生涯学習課長 | 田中健一君 | 世界遺産対策室長 | 相馬和徳君 |

(兼中央公民館長・南公民館長・中央図書館長)

| | | | |
|------------|-----------|-------------|-----------|
| 農業委員会会長 | 天 間 俊 一 君 | 農業委員会事務局長 | 田 村 教 男 君 |
| 代表監査委員 | 吉 川 正 純 君 | 監査委員事務局長 | 澤 山 晶 男 君 |
| 選挙管理委員会委員長 | 新 館 文 夫 君 | 選挙管理委員会事務局長 | 仁 和 圭 昭 君 |

○職務のため会議に出席した事務局職員

| | | | |
|-------|-----------|---------|-----------|
| 事務局 長 | 澤 山 晶 男 君 | 事務局 次 長 | 鳥谷部 伸 一 君 |
|-------|-----------|---------|-----------|

○会議を傍聴した者（3名）

○会議の経過

○委員長（田島政義君） おはようございます。

ただいまの出席委員は14名で、定足数に達しております。

したがって、決算審査特別委員会は成立いたしました。

これより、本日の会議を開きます。

本日の審査日程及び本委員会における説明員は、お手元に配付したとおりです。

お諮りします。

本委員会の傍聴を許可したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 御異議なしと認めます。

したがって、傍聴を許可することに決定いたしました。

ただいまから決算審査に入りますが、質疑に入る前にお願いいたします。

本日は、一般会計歳入歳出決算書の歳出、8款土木費まで終わりたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、質問される委員にお願いいたします。

御質問の際は、ページ数、科目をお示しの上、御質問くださるようよろしくお願いいたします。

初めに、令和3年度七戸町一般会計歳入歳出決算書の審査に入ります。

質疑は、歳入歳出決算事項別明細書により行います。

歳入から行います。

54ページ、1款1項1目個人から、69ページ、13款2項4目商工手数料まで、発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、68ページ、14款1項1目民生費負担金から、73ページ、14款3項2目民生費委託金まで、発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、72ページ、15款1項1目民生費負担金から、79ページ、15款3項3目農林水産業費委託金まで、発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、78ページ、16款1項1目財産貸付収入から、85ページ、19款1項1目繰越金まで、発言を許します。

8番委員。

○委員（岡村茂雄君） 81ページ、17款1項寄附金1目一般寄附金について、ふる

さと納税の関係ですけれども、見ますと去年あたりからもう増えてきていますが、一般ですけれども、企業版の場合はその年度によって違うと思うのですが、これちょっと町のPRにも最近なっているものですからお聞きしますが、返礼品どういうものが伸びているのか、その辺ちょっと教えていただけますでしょうか。

○委員長（田島政義君） 総務課長。

○総務課長（仁和圭昭君） お答えします。

令和2年度から3年度、前年比で約1,588万6,000円伸びている状況であります。前年度比で1.35倍、件数も632件ほど増となっております。

主な今、人気の返礼品の品目でございますけれども、金子ファームのNAMIKI和牛ステーキ200グラム4枚セット、あづまの冷凍長芋とろろパックと、あとLOCO・SIKIのブッラータチーズ、みちのく農産の訳ありりんご、七戸まこと農場のねばりまこと芋等が今、人気の品目となっている状況でございます。

○委員長（田島政義君） ほかに。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、86ページ、20款1項1目延滞金から、93ページ、21款1項6目災害復旧費まで、発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、歳出に入ります。

96ページ、1款1項1目議会費から、109ページ、2款1項6目企画費まで、発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、108ページ、2款1項7目七戸支所費から、119ページ、2款1項17目荒熊内地区開発事業費まで、発言を許します。

1番委員。

○委員（中野正章君） 117ページ、2款総務費1項総務管理費15目地域おこし総合戦略費のまず下なのですけれども、予算には移住支援金100万円、結婚新生活支援事業費補助金480万円という予算が計上されていましたが、結局決算では全く計上されていないという、この理由をお願いします。

○委員長（田島政義君） 企画調整課長。

○企画調整課長（金見勝弘君） お答えいたします。

いずれの事業に対しても、対象者が令和3年度はございませんでした。

ちなみに、令和4年度に関しては、移住創業の関係の申請、交付決定が1件ございます。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） 10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 117ページ、2款1項15目18節一番下、空き家・空き

地利活用事業費補助金20万円となっているのですが、まず、空き地・空き家の活用というのは、これはもう大変町の将来にも関わるすごく大事なことなのですが、この20万円の補助金というのは一体何に使ったのか。

○委員長（田島政義君） 企画調整課長。

○企画調整課長（金見勝弘君） お答えいたします。

これは町のバンクになるのですが、こちらに空き地であったり空き家を登録していただいて、それが売却というふうに移動した場合に、町から補助金を交付する仕組みとなっております。令和3年度の実績に関しては、この空き家バンクには実は町の土地、立野地区に3筆、町に分譲地といいますか、売却している土地があったのですが、このうち1件はもう既に売却済みで、残り2件をバンクに登録しておりました。その中での1件の売却が成立したことにより、購入者に対して補助を20万円出したものでございます。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、118ページ、2款1項18目新型コロナウイルス感染症対策費から、125ページ、2款1項20目地方創生推進事業費まで、発言を許します。

10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 119ページ、2款1項17目14節工事請負費のところの七戸町総合アリーナ新築工事費7,778万円ということになっているのですが、これ予算は3億1,000万円取っているのです。途中で補正したと思うのですが、これは予算と実際の決算はどうしてこのように違うのか。

○委員長（田島政義君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（田中健一君） お答えいたします。

これはあくまでも3年度分の支払いの決算額になります。継続費として事業費を計上しておりますので、これに記載されているものは3年度の出来高、約2%分の実績額ということになります。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

ほかは。

12番委員。

○委員（三上正二君） 120ページ、2款総務費1項総務管理費18目新型コロナウイルス感染症対策費の関係で、先般の議会のときに町長から聞いて、3年前のときに町に資金が来た形の中で、コロナ資金が、ひも付きではない資金が来た中で町の最初の会

議、どういうふうにやっていますかと言ったら、いや、何もやっていませんと言ったけれども、この項目でそれに当てはめてやったという形もないのですか。町長ではなくて、これ企画課長が分かると思うのですけれども。言っていること分かりますか。

○委員長（田島政義君） 企画調整課長。

○企画調整課長（金見勝弘君） お答えいたします。

三上委員から以前そういう御質問があって、それに対して町長が何もやっていないという発言のところに關して、まず補足をさせていただければ。

その間にもコロナが発生してから今日まで、町の中では様々なプロジェクトチームを立ち上げて、このコロナ対策事業であったりとか、交付金活用事業を検討してまいりました。その中で、町長が発言された中でのコロナ対策、ウィズコロナ何とかプロジェクトとかという名称のものは確かに立ち上がってはおりません。ただし、いろいろな事業、今回3年度決算で報告がされている様々な事業に対しては、そういった庁内の関係機関において十分に審議して、予算化をして実施してまいりました。ですので、コロナ対策、ウィズコロナも含めて、新たな事業も含めていろいろ実施しております。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） 12番委員。

○委員（三上正二君） 多分そうだと思います。ただ、的ちょっとずれているのです。コロナ資金でいろいろな形の中でこの飲食店とか商店の人たちが、私たちにも企業者にもお金くれるのはいいのです。そこはいいのだけれども、これちょっと俺の言い方が悪かったのか誤解があったと思うのだけれども、せっかく3年も前にやった、毎年予算があつて決算があつてきているわけさ。今回もこの決算のところで、せっかくこういうふうな形の中でやっているのだけれども、ただ、今の現状を見ると、この町の飲食店ばかりではなくて、この商店の人たちも町のていなきなくなるわけさ。自然にそういう状態になっているわけさ。これあと一、二年やれば町の商店全部なくなるのだよ。それでも同じあつても、今回の町のときにやったときにそれだけのにぎわいは出たからいいのだけれども、だから、そういう意味合いのところで今回の決算を踏まえて次の予算もあるでしょうけれども、それを踏まえての形の中で検討してもらいたいと思います。これは要望です。

○委員長（田島政義君） 要望でいいですね。

ほかに。

10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 123ページ、2款1項15目19節扶助費のところなのですが、任意インフルエンザ予防接種助成費、ウイルス検査費助成費など、この辺は予算とどっちも大きく違うのです。接種費は、予算は10万円となっているのが、実際は15万円使われている、助成費は100万円が179万円です。これはどうしてこういうふうに違うのか。

○委員長（田島政義君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（井上 健君） お答えします。

佐々木委員がおっしゃっているのは、ちょっと私からはウイルス検査費助成費なのですけれども、こちらは予算を増やしていました。減ってなくて、予算を増やして途中で補正予算を上げましたけれども、予定よりも来なかったということで使われなかった部分が出てきたということです。

以上です。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

7番委員。

○委員（所 清悦君） 118、119ページで、2款1項18目に関してですけれども、コロナで感染者数なり死亡者数がテレビ・新聞等で毎日のように報道されているわけですけれども、気になるのが、亡くなった場合に、極端な話すると、交通事故で運ばれてきてそれで亡くなったけれども、PCR検査の結果が陽性だったので、それもコロナで亡くなったという数え方をしているというのを聞いたりしたので、それについてはどういうふうな定義になっているのか伺います。

○委員長（田島政義君） 総務課長。

○総務課長（仁和圭昭君） 管内の一週間当たりの総数、それは公表されていると、死亡のいわゆる特定されたところの理由とかそこについては、ちょっとこちらのほうでは分かっておりません。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、124ページ、2款2項1目賦課徴収費から、135ページ、2款6項1目監査委員費まで、発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、134ページ、3款1項1目社会福祉総務費から、143ページ、3款1項9目後期高齢者医療対策費まで、発言を許します。

10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 141ページ、3款民生費1項社会福祉費6目障害者福祉費11節役務費のところの成年後見人制度町長申立手数料というのがあるのですが、この成年後見人制度というのもこれはすごく大事な制度なものですから、これの申立て手数料となっているのですが、これは何人が申し込んだりしたのかということをお伺いしたいと。

もう一つ、18節負担金補助及び交付金のところで、予算では、手をつなぐ育成会補助金というのがあるのですが、決算には手をつなぐ育成会補助金というのがなくなっているのです。これがどうしてなのか二つ伺います。

○委員長（田島政義君） 保健福祉課長から先に答弁します。

○保健福祉課長（井上 健君） お答えします。

手をつなぐ補助金ですけれども、開催しているところがコロナ禍により事業、何とか大会とか何とか研修とかそういうのが開催できなく、なかったことにより支出がなくなりました。

以上です。

○委員長（田島政義君） 次に、介護高齢課長。

○介護高齢課長（三上義也君） 成年後見人制度の町長申立ては1件ございました。

以上です。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、142ページ、3款2項1目児童福祉総務費から、147ページ、3款2項4目児童センター管理費まで、発言を許します。

7番委員。

○委員（所 清悦君） 145ページ、3款2項1目19節出産祝い金が270万円ということで、総額が270万円、対象となった人数をまず伺います。

○委員長（田島政義君） こどもみらい課長。

○こどもみらい課長（佐々木和博君） お答えします。

54人です。

以上です。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

7番委員。

○委員（所 清悦君） そうすると、1人当たり単純に割った数、5万円……分かりました。

○委員長（田島政義君） 次に、146ページ、4款1項1目保健衛生総務費から、157ページ、5款1項1目労働諸費まで、発言を許します。

10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 149ページ、4款1項1目18節中部上北広域事業組合負担金（病院）なのですが、これは今年度の決算は4億円となっているのですが、昨年度よりも1億円減っているのです。1億円減って今年度は4億円なのですが、令和4年度の予算を見るとまた9,000万円増になっているのです。だから、年間で1億円減ったり1億円増えたりということで、この中部上北広域事業組合の負担金というのは億単位で1年間に違っているのですが、これはどうしてですか。

○委員長（田島政義君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（井上 健君） お答えします。

令和3年の決算の1億円がほぼ減というところですがけれども、その辺は令和2年まで

七戸病院の経常収支改善のために4年間、東北町・七戸町で基準外の特別負担金繰出金というのをを出しておりました。それから、令和4年度からですけれども、こちらのほうは七戸病院の資本金不足比率、それが悪化したため、また七戸と東北町での基準外の特別負担金を出してほしいという要望があったため、出すことになりました。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） 10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 増えたのは七戸病院の資本金不足比率の増ということなのですが、資本金不足比率についてももう少し説明してください。

○委員長（田島政義君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（井上 健君） お答えします。

資本金不足比率が上がると、七戸病院で機器更新するときに結構お金がかかります。その際に起債が借りられなくなって、今後の病院の経営に支障を来すということで、増やして基準外繰出金を出しているところです。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

町長。

○町長（小又 勉君） ちょっと言葉として、資金不足比率ということで、今までずっと遡って説明しますと、4年間1億3,000万円を両町で、これ繰出し基準外の負担ということで1億3,000万円4年間ずっと出してきました。しからばこれでいいのかなと思って1年間実は休んだわけでありまして。それで今度は、さっき言った資金不足比率、こうなってくると、やるべきその補助事業とかそういったものはもうできなくなるということで、今度は両町で合わせて1億円を繰出し基準以外のお金を出すということにしていました。だから上がったりがったりということになります。これ1億円を出したおかげでその資金不足比率は解消して、医療機器だとかそういったものの購入の際の心配はなくなったということでありまして、これでもって今目指しているのは単年度の黒字、これは恐らく達成できるだろうと、令和4年度、そういうふうに思っております。残念ながら1億円なくなった、いわゆるちょうどなくなった1年間は令和3年度の決算は赤字ということになりましたが、今度は黒字を目指しているということになります。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、156ページ、6款1項1目農業委員会費から、159ページ、6款1項5目農地売買等事業費まで、発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、158ページ、6款1項1目農業総務費から、167ページ、6款1項12目鳥獣被害対策費まで、発言を許します。

11番委員。

○委員（田嶋輝雄君） 161ページ、6款農林水産業費1項農業費、昨年は米が3,000円以上上がりまして、大変農家の方々は痛手を受けました。その中において、町では、シンガポール向けとかあるいは（聞き取れず）とか、様々なイノベーション事業等も含めて、農家の方々に少しでも所得が上がるよということで努力されておりますけれども、そこでまだまだこれからも、今日も新聞にありましたけれども、1,300円ほど上がるよと、果たして肥料に対して1,300円が間に合うかどうか、正直言って農家の人たちも大変な思いされると思います。

そこで、私は今までシンガポールやら（聞き取れず）ですけれども、そういった形の中、もっともっと拡大していく、町でもっと自ら宣伝して拡大していく必要があるのではないかなとそう思っております。そこで伺いますけれども、町長、そのところをこれから議員と一緒にやって宣伝する必要があるのではないかなと私はそう思いますが、その辺の考えはいかがでしょうか。

○委員長（田島政義君） 町長。

○町長（小又 勉君） 幸いシンガポール向け、これは成功しております。ただし、あと1年ということで、これはクボタと組んでやっているわけで、独自販売ということではありません。やった当初はやっぱりシンガポールにはそういう日本の米の需要というのはあると、富裕層というのがあるそうでありまして、非常に人気があるということで、では、やっぱりもう少し販路を拡大ということで行ってきましようかといったら、コロナがありましてなかなか行くに行けないということでもあります。

ですから、今一度、提携先のクボタと交渉しながら、あるいはまた国の補助金もいわゆる輸出補助金、実はこれがないとまたペイしないということもありますので、これは今までも販路拡大ということで外国への輸出、これは補助金を途切れることなくどんどん継続して出していきたいという要望はしております。

ですから、この両面でこれからも努力したいと思っておりますし、クボタ以外でも、ヤンマーはうちでもやっているよという話も聞いています。ですから、もちろん町単独で外国へ行ってさあ売り込むということはなかなかそうもできないものですが、そういう大手の農機具メーカー、そういったものと提携をしながら、販売先の開拓というのを進めていきたい、努めていきたいというふうに思っています。

○委員長（田島政義君） 11番委員。

○委員（田嶋輝雄君） 今、町長のお話にもありました。期限としてはあと1年ということでありましたけれども、そのメーカーの一部の人ですけれども、お偉い方ではなかったのだけれども、要は、県、国あるいは町、助成すれば私たちも続けていきたいと、そういうふうなお話をしておりましたので、そこはやはり町も努力、また県の努力、国の努力も必要だと思っておりますけれども、そこは町長の手腕にかかっておりますので、要望としておきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○委員長（田島政義君） 要望でよろしいですね。

ほかにございませんか。

12番委員。

○委員（三上正二君） 161ページ、6款農林水産業費1項農業費6目農業総務費12節委託料、農業施設・加工研修センターの指定管理業務委託料、工事費とあるのですが、この加工センターもしくはローズカントリーの形はどこまでどうやる予定なのですか。まだ今年度予算だから決算で出てきているのだけれども、何か聞けばもうそろそろそこを止めるという話も聞こえているし。もし、差し支えなかったら教えてください。

○委員長（田島政義君） 農林課長。

○農林課長（原子保幸君） お答えいたします。

まず、こちらの加工センターの工事費でございますが、内容といたしましては、いわゆるハウスの機器の交換でございます。町では、今年から農家の皆さんにハウスを貸付ということで実施してございますが、ハウスの管理、機器、ビニールについては町でもつということの条件で貸し付けしてございます。

あと今後、カントリーの考え方ということで、指定管理は来年まで3年間ということで締結されてございますが、その後におかれましては、今、計画の段階でございますが、ローズカントリーは廃止して、バラは残すということでは一応確約はしていますのですけれども、ローズカントリーという名称は変更して、あの周辺を一体化した観光施設的な部分でということ、今後考えているということで今協議してございます。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

ほかに。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、166ページ、6款1項13目土地改良総務費から、173ページ、6款2項2目林道維持管理費まで、発言を許します。

10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 166ページ、6款農林水産業費1項農業費13目土地改良総務費の18節負担金補助及び交付金のところで、土場川地区経営体育成基盤整備事業費負担金4,191万円ということですが、これ当初予算6,000万円になっているのです。これはどうしてこういうふうに変化したのか。

○委員長（田島政義君） 農林課長。

○農林課長（原子保幸君） こちらにつきましては、継続した補助整備事業の負担金ということになりますけれども、予算計上したよりも実績がその分に満たなかったという実績がありまして、金額に差が生じてございます。

以上でございます。

○委員長（田島政義君） よろしいですね。

ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、172ページ、7款1項1目商工総務費から、179ページ、7款1項7目公園管理費まで、発言を許します。

2番委員。

○委員（山本泰二君） 172ページ、173ページ、7款1項商工費2目商工振興費の創業スタートアップ支援事業補助金、ここの実績ありましたら教えていただきたいと思ひます。

○委員長（田島政義君） 商工観光課長。

○商工観光課長（附田良亮君） お答えいたします。

令和3年度の創業スタートアップ支援事業ということで、令和3年度に創業を開始した方2件ありました。1件は飲食店スナック系、それから、もう1点は複合的な事業を行う方、これは新聞報道でもありましたが、東大町の空き家を利用してゴルフの練習場と、あとはメディアクリエートなど手がける方がお一人、もう一つの飲食店は、新町、東大町のあたりの空いていた店舗を利用して、これはむつの方が七戸町に異動してきて店を開業したと、その2件が実績でございます。

以上です。

○委員長（田島政義君） ほかにありませんか。

10番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 176、177ページ、7款1項5目12節委託料のところで、施設管理業務委託料というのは557万円となっているのですが、これは当初予算は916万円です。委託料がこういうふうに分近くも減るといふのは、これはどういふことですか。

○委員長（田島政義君） 商工観光課長。

○商工観光課長（附田良亮君） お答えいたします。

この予算は、駅の駐車場のシルバーと警備会社の配置の人件費であります。当初では、コロナが収束するものと願って必要経費を計上しておりましたが、コロナ禍が収束しないということで警備配置等が極端に減ったということから、この実績になってございます。

以上です。

○委員長（田島政義君） よろしいですか。

ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（田島政義君） 次に、180ページ、8款1項1目土木総務費から、187ページ、8款5項2目住宅建設費まで、発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(田島政義君) 以上で、本日予定された一般会計決算に対する質疑は全部終了しました。

本日は、これをもって散会し、12日の決算審査特別委員会は午前10時に開議いたします。

御苦労さまでした。

散会 午前10時40分